

令和 2 年 度

(令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)

事業 報 告 書

I. 事業の状況	1
II. 処務の概要	7
III. 計算書類	10
貸借対照表	10
貸借対照表内訳表	11
正味財産増減計算書	12
正味財産増減計算書内訳表	13
財務諸表に対する注記	14
附属明細書	16
財産目録	17
監査報告書 (写)	18

公益財団法人 八雲環境科学振興財団

I. 事業の状況

1. 助成事業

1-1. 環境研究助成事業

令和2年度 環境研究助成事業を下記のとおり実施した。

(1) 募集内容

自然環境の改善に寄与する研究に対する研究資金の助成

① 特定研究

- ・ 総事業費 700 万円程度
- ・ 助成件数 7 件程度
- ・ 助成金額 1 件あたり 100 万円以内
- ・ 募集テーマ

A：環境配慮型技術に関する研究

B：生物多様性に関する研究

C：防災・減災に関する研究

② 一般研究

- ・ 総事業費 350 万円程度
- ・ 助成件数 7 件程度
- ・ 助成金額 1 件あたり 50 万円以内

(2) 日程

- ・ 募集期間 令和2年3月10日～4月24日
- ・ 選考委員会（書面） 令和2年4月30日～5月12日
- ・ 理事会にて承認（書面） 令和2年5月20日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

① 特定研究

- ・ 応募総数 9 件
- ・ 助成実施件数 7 件
- ・ 助成金額 6,913,200 円

③ 一般研究

- ・ 応募総数 12 件
- ・ 助成実施件数 7 件
- ・ 助成金額 3,464,000 円

環境研究助成事業合計

助成実施件数 14 件

助成金額 10,377,200 円

(4) 助成対象者

① 特定研究

(単位：円)

所属機関	氏名	研究テーマ	助成金額
岡山大学大学院自然科学研究科	井上寛隆	界面構造制御による超軽量・高強度カーボンナノチューブ紡績糸の創成	1,000,000
岡山大学大学院自然科学研究科	渡邊貴一	温室効果ガス的大幅削減を指向した環境低負荷な蓄熱マイクロカプセルの開発	1,000,000
岡山大学資源植物科学研究所	武田 真	土壌伝染性ウイルスで起こる「大麦縮萎縮病」に対するオオムギ抵抗性遺伝子の多様性解析	1,000,000
岡山大学大学院自然科学研究科	片山侑駿	ウナギの遡上多様性を制御する生理機構の解析～ ”青鰻” 形成のメカニズム	1,000,000
岡山大学大学院環境生命科学研究科	金尾忠芳	湖底の還元力を利用して富栄養化を防止する新規酵素電極の開発	913,200
岡山大学大学院環境生命科学研究科	加藤謙司	環境配慮型マスクメロン品種の育成を可能にする種間雑種の作出と特性解析	1,000,000
岡山県立大学デザイン学部	向山 徹	環境配慮型技術の歴史的研究-旧閑谷学校のランドスケープを構成する水利技術について	1,000,000
合計 7件			6,913,200

② 一般研究

(単位：円)

所属機関	氏名	研究テーマ	助成金額
岡山大学大学院環境生命科学研究科	吉田圭介	旭川下流部の感潮域におけるアユの好適な産卵場の検討	500,000
岡山大学大学院環境生命科学研究科	島内寿徳	環境低負荷な還元剤フリー金属ナノ粒子形成法とその応用	500,000
岡山大学大学院環境生命科学研究科	泉 実	吸引式ボルテックス濃縮法を用いた環境調和型有機合成反応の開発	500,000
岡山大学自然生命科学研究支援センター	寺東宏明	環境浄化技術としての水中放電プラズマの可能性	500,000
岡山大学大学院自然科学研究科	三村真紀子	希少種を含むイカリソウ属の系統分類学的研究	498,000
岡山大学大学院環境生命科学研究科	永禮英明	オゾンを用いた下水中での微細藻類 Haematococcus pluvialis 優占培養技術の開発	466,000
岡山大学大学院自然科学研究科	源田亜衣	サンゴ骨格中の U/Ca 比と $\delta^{13}\text{C}$ からみるロンボク海峡における人為起源 CO ₂ の影響の検討	500,000
合計 7件			3,464,000
環境研究助成事業合計14件			10,377,200

(注) 所属機関、役職名は申請時現在。

1-2. 国際研究交流助成事業

令和2年度 国際研究交流助成事業を下記のとおり実施した。

(1) 募集内容

環境科学に関する海外研究集会への参加、又は海外研究者の招聘にかかる渡航費用等の助成

- ・総事業費 100万円程度
- ・助成件数 5件程度
- ・助成金額 1件あたり20万円以内

(2) 日程

- ・募集期間 令和2年3月10日～4月24日
- ・選考委員会（書面） 令和2年4月30日～5月12日
- ・理事会にて承認（書面） 令和2年5月20日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

- ・応募総数 1件
- ・助成実施件数 0件（1件の採択があったが、新型コロナウイルス感染症の影響により研究集会中止により取り消し）

1-3. 研究集会助成事業

令和2年度開催の研究集会助成事業を下記のとおり実施した。

(1) 募集内容

令和2年10月1日から令和4年3月31日までに岡山県内で開催される環境科学に関する研究集会等に対する助成

- ・総事業費 90万円程度
- ・助成件数 3件程度
- ・助成金額 1件あたり30万円以内

(2) 日程

- ・募集期間 令和2年3月10日～4月24日
- ・選考委員会（書面） 令和2年4月30日～5月12日
- ・理事会にて承認（書面） 令和2年5月20日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

- ・応募総数 2件
- ・助成実施件数 2件
- ・助成金額 600,000円

(4)助成対象者

(単位：円)

所属機関	氏名	研究集会名（主催機関名）	開催地	開催期間	助成金額
岡山大学大学院環境生命科学研究科	宮竹貴久	環境 DNA の衝撃：生き物たちの過去・現在・未来を解き明かす	岡山	R3. 3. 31	300,000
岡山大学大学院環境生命科学研究科	川本克也	第 32 回廃棄物資源循環学会研究発表会	岡山	R3. 9. 15 ~ R3. 9. 17	300,000
合計 2件					600,000

1-3-1. 追加募集（研究集会助成事業）

令和2年度 研究集会助成事業の追加募集を下記のとおり実施した。

(1)募集内容

令和3年2月1日から令和4年3月31日までに岡山県内で開催される環境科学に関する研究集会等に対する助成

- ・総事業費 60万円程度
- ・助成件数 2件程度
- ・助成金額 1件あたり30万円以内

(2)日程

- ・募集期間 令和2年11月10日～令和2年11月20日
- ・選考委員会（書面）令和2年11月26日
- ・理事会にて承認（書面）令和2年12月4日

(3)応募件数、助成実施件数及び助成金額

- ・応募総数 3件
- ・助成実施件数 3件
- ・助成金額 700,000円

(4)助成対象者

(単位：円)

所属機関	氏名	研究集会名（主催機関名）	開催地	開催期間	助成金額
岡山大学大学院自然科学研究科	高橋 卓	日本ポリアミン学会第12回年会	岡山	R4. 1. 21～ R4. 1. 22	100,000
川崎医科大学心臓血管外科学	柚木 靖弘	第16回日本禁煙科学会学術総会 in 倉敷	倉敷	R3. 9. 11～ R3. 9. 12	300,000
岡山理科大学研究・社会連携機構古生物学・年代学研究センター	豊田 新	EPR BioDose 2021	岡山	R3. 9. 25～ R9. 29	300,000
合計 3件					700,000
研究集会助成事業合計5件					1,300,000

2. その他の事業

2-1. 環境科学啓発事業

小中高生の科学に対する関心離れへの対策や一般人の環境科学の啓発を目的に、岡山県内において広く活動している団体等に対して、ホームページにより公募した。

(1) 募集内容

- ・総事業費 20万円程度
- ・助成件数 2件程度
- ・助成金額 1件あたり10万円以内

(2) 日程

- ・募集期間 令和2年3月10日～4月24日
- ・理事会にて承認（書面） 令和2年5月20日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

- ・応募総数 2件
- ・助成実施件数 1件
- ・助成金額 100,000円

(4) 助成対象者

(単位：円)

氏名	参加会議名 講演又は発表の表題	助成金額
岡山市少年少女発明クラブ 上田達伸	自由発想を重視したロボット製作活動	100,000
合計 1件		100,000

((注) 所属機関、役職名は申請時現在。

2-2. シンポジウム等の開催事業（研究成果発表会開催）

(1) 予算額及び実施額

- ・予算額 200,000円

令和2年度研究発表会は、新型コロナウイルス感染症対策の状況を考慮し、中止といたしました。

2-3. 出版物の編集・刊行事業（研究レポート集刊行）

令和元年度助成対象者の研究助成報告書等に基づき、令和2年10月に「研究レポート集2020（第21号）」を刊行、200部作成し、岡山県内の研究機関、図書館等へ無料で配布した。

(1) 予算額及び実施額

- ・ 予算額 630,000 円
- ・ 実施額 539,000 円



「研究レポート集 2020 (第 21 号)」

2-4. 調査研究事業

今年度は、計画年度として、助成事業の成果の整理や研究開発等の企画、資料・情報の収集および提供、調査・研究等の支援について事務局にて検討を行った。次年度以降、実施予定としている。

また、引き続き、ホームページ等で助成の総括およびシンポジウムの内容を公開した。

2-5. 表彰事業

令和元年度環境研究助成特定テーマの助成対象者の中から、当財団選考委員からなる「八雲賞審査委員会」で、厳選なる審査を行い、第 2 回「八雲賞」が決定した。

なお、今回の審査は、新型コロナウイルス感染症予防対策を考慮し、研究発表会を中止としたため、プレゼンテーションの審査は実施せず、「論文」審査のみとなった。

(1) 八雲賞受賞者

岡山大学大学院自然科学研究科 教授 依馬 正 氏
専門分野「有機合成化学・触媒化学」

(2) 受賞テーマ

「無溶媒で常圧の二酸化炭素を用いる環境調和型物質生産」

(3) 予算額及び実施額

- ・ 予算額 50,000 円
- ・ 実施額 42,570 円

Ⅱ. 処 務 の 概 要

1. 役員他に関する事項

(令和3年3月31日現在)

役 職	氏 名	就任年月日	現 職
理事長 理事	小谷 裕司	令和2年6月10日	(株)エイト日本技術開発代表取締役社長
	河野 伊一郎	令和2年6月10日	倉敷芸術科学大学学長
	辻 英明	令和2年6月10日	前岡山県立大学学長
	沖 陽子	令和2年6月10日	岡山県立大学学長
	佐藤 豊信	令和2年6月10日	岡山商科大学大学院経済学研究科教授
	波田 善夫	令和2年6月10日	岡山理科大学名誉教授
	阿部 宏史	令和2年6月10日	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
	伊丹 文雄	令和2年6月10日	E・Jホールディングス(株)顧問
監事	西田 秀史	令和2年6月10日	弁護士
	松原 治郎	令和2年6月10日	税理士
	小谷 浩治	令和2年6月10日	(株)エイト日本技術開発管理本部副本部長
評議員	本水 昌二	令和2年6月10日	岡山大学名誉教授
	杉尾 剛	令和2年6月10日	岡山大学名誉教授・杉尾化学合成独立栄養細菌研究所所長
	西垣 誠	令和2年6月10日	岡山大学名誉教授
	鳥越 良光	令和2年6月10日	岡山商科大学名誉教授
	星野 卓二	令和2年6月10日	岡山理科大学生物地球学部特担教授
	神埼 浩	令和2年6月10日	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
	岩田 正晴	令和2年6月10日	ロック地域計画事務所 代表
	谷本 俊夫	令和2年6月10日	元E・Jホールディングス(株)取締役
選考委員	藤井 勉	令和2年6月10日	(株)エイト日本技術開発監査役
	稲井 寛	令和2年4月1日	岡山県立大学情報工学部教授
	坂本 圭児	令和2年4月1日	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
	大久保賢治	令和2年4月1日	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
	田村 隆	令和2年4月1日	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
	佐藤 丈晴	令和2年4月1日	岡山理科大学生物地球学部准教授
	永井 泉治	令和2年4月1日	(株)エイト日本技術開発取締役常務執行役員

2. 職員に関する事項

(令和3年3月31日現在)

役 職	氏 名	採用年月日	給与	担当事務	備考
事務局	小谷 満俊	平成26年6月1日	無給	企画及び総務	兼任
〃	二木 里美	平成26年6月1日	無給	企画及び総務、経理及び財務	兼任

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	出席者数	議事内容	会議の結果
令和2年5月20日	現在数8名 書面決議	1. 令和元年度事業報告の件 2. 令和2年度助成事業承認の件 3. 令和2年度環境科学啓発事業承認の件 4. 評議員会開催の件	可決 可決 可決 可決
令和2年6月10日	現在数8名	1. 代表理事の選定の件	可決
令和2年12月4日	現在数8名 書面決議	1. 令和2年度研究集会助成（追加募集）承認の件」	可決
令和3年3月2日	現在数7名	1. 令和3年度事業計画及び収支予算の件 2. 令和3年度資金調達及び設備投資の見込みの件 3. 令和3年度助成事業募集要項の件 4. 令和3年度環境科学啓発助成事業募集要項の件 5. 株式会社八雲の定時株主総会の件 6. 評議員会開催の件	可決 可決 可決 可決 可決 可決

(2) 評議員会

開催年月日	出席者数	議事内容	会議の結果
令和2年6月10日	現在数9名 本人出席8名	1. 令和元年度事業報告の件 2. 令和2年度助成事業承認の件 3. 令和2年度環境科学啓発事業承認の件	可決 可決 可決
令和3年3月2日	現在数9名	1. 令和2年度事業計画及び収支予算の件 2. 令和2年度資金調達及び設備投資の見込みの件 3. 令和2年度助成事業募集要項の件 4. 令和2年度環境科学啓発助成事業募集要項の件	可決 可決 可決 可決

4. 行政庁等の許可、認可及び承認に関する事項

該当事項はありません。

5. 契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要
令和2年4月1日	株式会社エイト日本技術開発	財団事務を月額50,000円にて委託する。

6. 寄付金に関する事項

寄附目的	種類	数	領収金額
運用財産として	個人	1	5,000 円

7. 行政庁の指示に関する事項

該当事項はありません。

8. 税法上の収益事業に関する事項

該当事項はありません。

9. その他重要な事項

該当事項はありません。

貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,820,804	1,040,149	780,655
流動資産合計	1,820,804	1,040,149	780,655
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	47,912,000	47,912,000	0
投資有価証券	221,000,000	221,000,000	0
基本財産合計	268,912,000	268,912,000	0
固定資産合計	268,912,000	268,912,000	0
資産合計	270,732,804	269,952,149	780,655
II 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	268,912,000	268,912,000	0
指定正味財産合計	268,912,000	268,912,000	0
(うち基本財産への充当額)	(268,912,000)	(268,912,000)	0
2. 一般正味財産	1,820,804	1,040,149	780,655
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	270,732,804	269,952,149	780,655

貸借対照表内訳表
(令和3年3月31日現在)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金		1,820,804		1,820,804
流動資産合計		1,820,804		1,820,804
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	33,538,400	14,373,600		47,912,000
投資有価証券	94,000,000	127,000,000		221,000,000
基本財産合計	127,538,400	141,373,600		268,912,000
固定資産合計	127,538,400	141,373,600		268,912,000
資産合計	127,538,400	143,194,404		270,732,804
II 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄付金	127,538,400	141,373,600		268,912,000
指定正味財産合計	127,538,400	141,373,600		268,912,000
(うち基本財産への充当額)	(127,538,400)	(141,373,600)		△ 268,912,000
2. 一般正味財産		1,820,804		1,820,804
(うち基本財産への充当額)				
正味財産合計	127,538,400	143,194,404		270,732,804

正味財産増減計算書
(令和2年4月1日より令和3年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	14,372,236	13,104,790	1,267,446
基本財産受取利息	1,704,726	1,704,790	△ 64
基本財産受取利息振替額	867,510	450,000	867,510
基本財産受取配当	11,800,000	10,950,000	850,000
②受取寄付金	5,000	5,000	
受取寄付金	5,000	5,000	
④雑収益	55	40	15
受取利息	55	40	15
経営収益計	14,377,291	13,109,830	1,267,461
(2) 経常費用			
①事業費	12,358,770	13,128,526	△ 769,756
研究支払助成金	11,777,200	11,564,480	212,720
会場費	42,570	210,046	△ 167,476
印刷製本費	539,000	1,354,000	△ 815,000
②管理費	1,237,866	1,156,518	81,348
事務委託料	600,000	600,000	
会議費	231,510	160,223	71,287
旅費交通費	130,000	92,000	38,000
印刷製本費	16,720	9,720	7,000
通信運搬費	42,870	106,000	△ 63,130
消耗品費	9,446	12,285	△ 2,839
租税公課	960	960	
雑費	206,360	175,330	31,030
経常費用計	13,596,636	14,285,044	△ 688,408
当期経常増減額	780,655	△ 1,175,214	1,955,869
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	780,655	△ 1,175,214	1,955,869
一般正味財産期首残高	1,040,149	2,215,363	△ 1,175,214
一般正味財産期末残高	1,820,804	1,040,149	780,655
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	268,912,000	268,971,860	△ 59,860
指定正味財産期末残高	268,912,000	268,912,000	
III 正味財産期末残高	270,732,804	269,952,149	780,655

正味財産増減計算書内訳表
(令和2年4月1日より令和3年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	12,410,565	1,961,671		14,372,236
基本財産受取利息	3,308	1,701,418		1,704,726
基本財産受取利息振替額	607,257	260,253		867,510
基本財産受取配当	11,800,000			11,800,000
②受取寄付金	5,000			5,000
受取寄付金	5,000			5,000
④雑収益	55			55
受取利息	55			55
経常収益計	12,415,620	1,961,671		14,377,291
(2) 経常費用				
①事業費	12,358,770			12,358,770
研究費支払助成金	11,777,200			11,777,200
会場費	42,570			42,570
印刷製本費	539,000			539,000
②管理費	613,449	624,417		1,237,866
事務委託料	420,000	180,000		600,000
会議費		231,510		231,510
旅費交通費		130,000		130,000
印刷製本費	11,704	5,016		16,720
通信運搬費	30,009	12,861		42,870
消耗品費	6,612	2,834		9,446
租税公課	672	288		960
雑費	144,452	61,908		206,360
経常費用計	12,972,219	624,417		13,596,636
当期経常増減額	△ 556,599	1,337,254		780,655
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 556,599	1,337,254		780,655
一般正味財産期首残高	△ 4,265,397	5,305,546		1,040,149
一般正味財産期末残高	△ 4,821,996	6,642,800		1,820,804
II 指定正味財産増減の部				
基本財産受取利息	607,257	260,253		867,510
一般正味財産への振替額	△ 607,257	△ 260,253		△ 867,510
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高	127,538,400	141,373,600		268,912,000
指定正味財産期末残高	127,538,400	141,373,600		268,912,000
III 正味財産期末残高	122,716,404	148,016,400		270,732,804

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法

その他の有価証券

時価のないもの・・・移動平均法による原価法

(2) 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

3. 会計方針の変更

該当事項はありません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	47,912,000	0	0	47,912,000
投資有価証券	90,000,000	0	0	90,000,000
投資有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
投資有価証券	14,000,000	0	0	14,000,000
投資有価証券	17,000,000	0	0	17,000,000
合 計	268,912,000	0	0	268,912,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	47,912,000	(47,912,000)	0	0
投資有価証券	90,000,000	(90,000,000)	0	0
投資有価証券	100,000,000	(100,000,000)	0	0
投資有価証券	14,000,000	(14,000,000)	0	0
投資有価証券	17,000,000	(17,000,000)	0	0
合 計	268,912,000	(268,912,000)	0	0

6. 担保に供している資産

該当事項はありません。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当事項はありません。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当事項はありません。

9. 保証債務（保証債務を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務
該当事項はありません。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりであります。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
中銀証券株式会社 シティグループ・グローバル・ マーケット・リミテッド保証付 円建社債	90,000,000	85,826,700	△ 4,173,300
大和証券株式会社発行日経リンク債	100,000,000	97,230,000	△ 2,770,000
合計	190,000,000	183,056,700	△ 6,943,300

(R3. 3. 31)

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当事項はありません。

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高
該当事項はありません。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当事項はありません。

14. 重要な後発事象
該当事項はありません。

15. その他
該当事項はありません。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳に記載のとおりであります。

2. 引当金の明細

該当事項はありません。

財 産 目 録
(令和3年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金 額	
(流動資産)	現金		運用資金として使用している	136,729	
	預金	普通預金	運用資金として使用している		
		三井住友銀行岡山支店 中国銀行奉還町支店		584,251 1,099,824	
流動資産合計				1,820,804	
(固定資産)	基本財産	定期預金	三井住友銀行岡山支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業(70%)、管理業務(30%)で使用している共用資産である。	47,912,000
		投資有価証券	中銀証券株式会社 シティグループ・グローバル・マーケット・リミテッド 保証付 円建社債	公益目的保有財産であり、公益目的事業(70%)、管理業務(30%)で使用している共用資産である。	90,000,000
			(株)八雲株式優先株式280株	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	14,000,000
			(株)八雲株式普通株式340株	運用益を公益目的事業の財源として使用している。	17,000,000
			大和証券株式会社発行日経リンク債	公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産として、運用益を管理費の財源に充てている。	100,000,000
固定資産合計				268,912,000	
資産合計				270,732,804	
正味財産				270,732,804	

監査報告書

令和3年4月20日

公益財団法人 八雲環境科学振興財団
代表理事 小谷 裕 司 殿

公益財団法人 八雲環境科学振興財団

監 事 西田 秀史

松原 治郎

小谷 浩治

令和2年4月1日より令和3年3月31日までの令和2年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会及び評議員会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上